

# 島根県プレビュー

人口	671千人
面積	6,708km <sup>2</sup>
県内総生産	2兆6,893億円
年平均気温	15℃
交通	東京まで1時間半、大阪まで50分

農業就農人口 **27,186人**

農業産出額 **620億円**

[畜産:253億円 米:189億円 園芸:160億円]

●出典:令和2年島根県統計書

島根県は中国地方北部、日本海の南岸に位置する東西約200kmに及ぶ細長い県です。県東部の出雲、西部の石見（いわみ）と日本海海上の隠岐の3地区に区分され、8市11町村から構成されています。

県総人口は約67万人、総生産額は約2兆7億円であり、人口や経済規模は全国の中でも少ない県ですが、県総面積は6,708km<sup>2</sup>で人口1人当たり約9,997m<sup>2</sup>と、広い土地を有しています。



**出雲地方（東部）**  
4市2町 人口:465,886人

**石見地方（西部）**  
4市5町 人口:186,118人



# 主な青果物の生産状況

島根県では、デラウエア（ブドウ）、西条柿を始め、トマト、キャベツなど多くの品目が栽培され、県内はもとより県外市場に出荷されています。



## POINT

島根県は日本海に面した東西に長い県であり、沿岸部と内陸部では気象条件が異なりますが、各地域の気象状況や土地に適した農産品目を生産しています。

## 主な青果物の生産状況

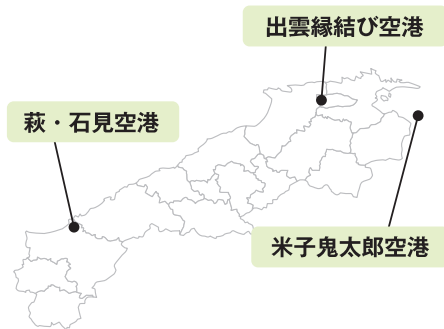
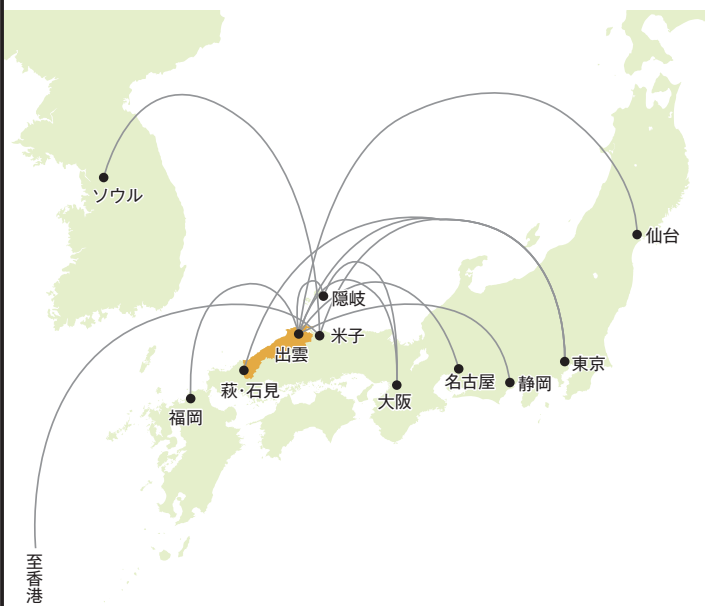
	主な産地	作付面積 (ha)	公表収穫量 (t)	主な出荷先	出荷時期											
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
キャベツ	松江市、出雲市 大田市、浜田市 安来市	244	5,660	京阪神、米子 県内	[Green bar spanning months 4 to 12]											
ホウレンソウ	雲南市、浜田市 飯南町、奥出雲町	148	1,850	京阪神、米子 県内	[Green bar spanning months 4 to 12]											
青ネギ	雲南市、出雲市	140	1,930	瀬戸内、米子 県内	[Green bar spanning months 4 to 12]											
白ネギ	出雲市、邑智郡				[Green bar spanning months 4 to 12]											
タマネギ	出雲市、益田市	107	3,070	瀬戸内、県内	[Green bar spanning months 6 to 10]											
トマト (大玉)	益田市、出雲市 松江市	104	3,280	瀬戸内 県内	[Green bar spanning months 4 to 12]											
トマト (ミニ)	益田市、吉賀町 美郷町				[Green bar spanning months 6 to 11]											
ブロッコリー	出雲市	105	760	京阪神、県内 広島	[Green bars: one from month 4 to 5, one from month 10 to 12]											
アスパラガス	出雲市、安来市 大田市	25	133	関西、瀬戸内 県内	[Green bars: one from month 4 to 10, one at month 3]											
柿	出雲市、松江市 益田市、浜田市	315	2,470	瀬戸内、県内	[Green bar spanning months 9 to 12]											
ブドウ	出雲市、益田市 大田市、浜田市	236	2,230	京阪神、県内 中京以東	[Green bar spanning months 6 to 10]											
メロン	益田市、大田市 出雲市、雲南市	48	1,190	京阪神、県内	[Green bars: one from month 6 to 8, one at month 11]											
梨	安来市、浜田市 出雲市	27	265	瀬戸内、県内	[Green bars: one at month 8, one from month 11 to 12]											
イチゴ	安来市、出雲市 大田市	20	450	県内	[Green bars: one from month 4 to 5, one from month 10 to 12]											

出典：農林水産統計（作付面積、公表収穫量）（平成29年） 農林水産関係資料（島根県農林水産部：主な出荷先）（平成29年）

# 交通アクセス

## 空路

島根県には出雲、石見、隠岐に3つの空港があり、隣接の鳥取県の米子空港を含め4空港が利用できます。県都松江市から出雲空港、米子空港へはそれぞれ片道約30分です。



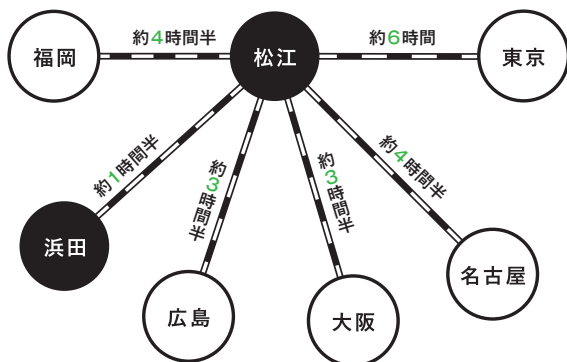
発	着	便数	所要時間
東京	出雲	5往復	1時間25分
	米子	5往復	1時間20分
	萩・石見	2往復	1時間45分
大阪	出雲	4往復	50分
	隠岐	1往復	50分
名古屋	出雲	2往復	1時間00分
福岡	出雲	2往復	1時間10分
静岡	出雲	1往復	1時間20分
仙台	出雲	1往復	1時間30分
隠岐	出雲	1往復	30分
ソウル	米子	週5往復	1時間30分
香港	米子	週2往復	4時間25分
神戸	出雲	1往復	55分

便数等は令和元年10月現在

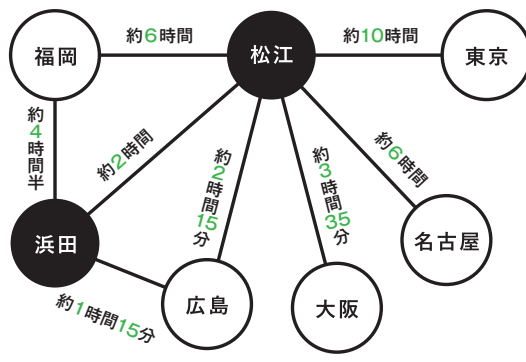
## 陸路 (JR・高速道路)

島根県と主要都市間（東京、名古屋、大阪、広島、福岡など）を結ぶJR、高速道路はビジネス、観光等で多くの方が利用されています。また、現在整備中の山陰自動車道の早期全線開通をめざして取り組んでいます。

### JR



### 高速道路

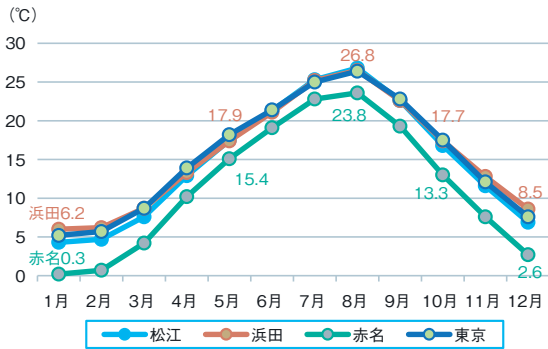


# 自然環境

島根県の中央部は北緯35°で京都、名古屋とほぼ同じ緯度上にあります。平均気温は全国並みで、降水量は全国平均よりやや多く、冬期の雪日数もやや多い地域です。日照時間は全国平均より短いですが、春～秋までの日照時間は東京より長いです。また、全国のなかでも台風接近数が少ない地域です。

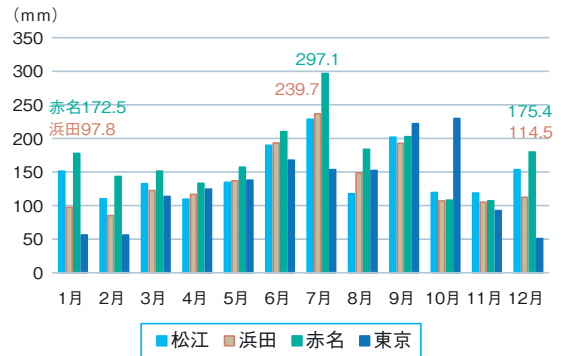


## 気温 (1991年～2020年の月平均値)



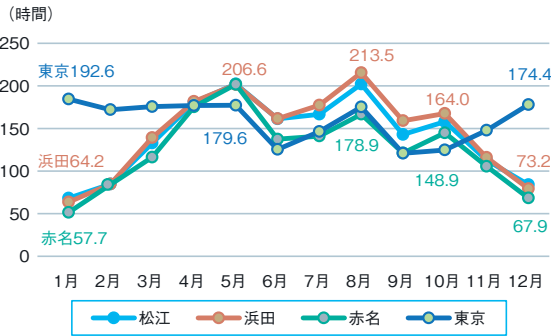
気象統計情報

## 降水量 (1991年～2020年の月平均値)



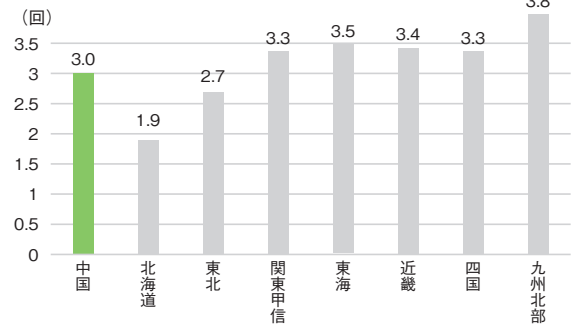
気象統計情報

## 日照時間 (1991年～2020年の月平均値)



気象統計情報

## 台風接近数 (1991年～2020年の年平均値)



気象統計情報

## SHIMANE WEATHER

### 松江市の気象

島根県東部の平坦地（高度17m）。東京と比べて、年間平均気温はほぼ同じで、降水量は多いものの、4月～10月までの日照時間は多い気候です。

### 浜田市の気象

島根県西部の平坦地（高度18m）。日照時間は県内で多い地域です。10月～4月の月別平均気温は島根県東部地区より1℃前後高い気候です。

### 飯南町赤名の気象

標高の高い中山間地域（高度444m）。県内他区平坦地と比べて年間平均気温は約3℃低く、日照時間は短く積雪は多い気候です。県内平坦地と比べて寒暖の差が大きい地域です。



# 島根の人材（担い手の育成）

## 教育機関

### Educational Institutions

島根県立農林大学校、農林高校、島根大学において今後の農業の担い手となる人材の育成に取り組んでいます。また、令和2年度では新規就農者が185人となっており、この内、雇用就農が125人と最高水準となっています。



### 島根県立農林大学校



島根県立農林大学校は、本県の主要産業である農林業の将来を展望し、広い視野に立って農林業を考え、新しい農林業を創造し、時代の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者を養成する研修教育機関です。養成部門には、農業科と林業科があり、実習を重視した実践教育と学生主体のプロジェクト学習が教育の特徴です。

特に農業科のある大田キャンパスでは、農業・畜産業を仕事にしたい方が農業に必要な基本的な知識・技術を学ぶことができます。林業科のある飯南キャンパスでは、林業に必要な基礎知識や技術を学び各種資格を取得することができます。

令和2年度から、農林大学校の自営就農者育成確保機能の強化を図るため、教育内容をさらに充実し定員を増やすとともに、農業経験や社会経験があり、速やかな就農を希望する者を対象とする1年制の「短期養成コース」を新設しています。

### 高等学校（農業学科・コース校）



学校名	市町村	入学定員
松江農林高等学校	松江市	160名
出雲農林高等学校	出雲市	160名
邇摩高等学校	大田市	120名
矢上高等学校	邑南町	95名
益田松陽高等学校	益田市	40名

島根県内の農林高校2校と他の3校に農業学科、コースを設け、農業の栽培方法を習得し、農業の担い手として農業法人等に就職しています。

### 国立大学法人 島根大学



農業部門の生物資源科学部で知識習得・人材育成教育を行っています。また、大学農場で生産実習を行っています。

# 補助事業

新たに営農を開始するのに必要となる施設・機械の整備や新規の雇用確保にかかる経費に対して活用できる補助事業の紹介と事業要件の確認や申請書類の作成等を支援します。

## 想定される補助事業の例

### 国事業

- 農地利用効率化等支援交付金
- 産地生産基盤パワーアップ事業
- 雇用就農資金

### 県事業

- 設立支援  
法人化に必要な登記費用等を支援  
補助率：定額（上限25万円）
- 開始活動支援  
培土・畝形成に要する資材費等の支援  
補助率：1/2（上限100万円、最長2年）
- 雇用人材確保支援  
雇用に要する経費を支援  
補助上限5万円等/月・人、最長2年
- 事務所賃貸費支援  
島根県内にオフィスを新設する場合の支援  
補助率：1/2（上限60万円/年、最長2年）
- 農地集積支援  
耕作放棄地を解消する等、島根県内で新たに開始する場合の整備費を支援  
国事業を活用の企業負担額を補助し、  
参入候補地を整備する市町村を支援の企業負担額を補助

# 制度資金

農地や農業用施設・機械などの取得費用、農業経営の安定に必要な運転資金など資金調達が必要な場合は、企業の皆様の要件に応じて活用ができそうな「農業制度資金」をご紹介します。

## 農業近代化資金

- 法人貸付限度額：2億円
- 償還期限：7～15年以内

## 農業経営基盤強化資金

- 法人貸付限度額：10億円
- 償還期限：25年以内

# 税制

地域の強み（産業集積、特産物、技術、情報等）を活かした先進的な事業に必要な設備投資に対して課税の特例（減税）措置が受けられます。

## 地域未来投資促進法に基づく課税の特例

### 国税

- 機械装置等：40%特別償却または4%税額控除
- 建物等：20%特別償却または2%税額控除

### 地方税

- 不動産取得税の課税免除
- 固定資産税の課税免除

※補助事業、制度資金、税制ともに要件等があります。 ※上記以外にも、補助金等の支援制度があります。  
活用できる支援制度や農地の確保、地元の支援体制等についてもご説明・ご紹介しますのでお気軽にご相談ください。

Pick Up /

## 島根県では、農業を行う企業への 支援策が充実しています！

企業様の経営モデルに沿った国庫補助金を提案するとともに、  
充実した県単補助金を用意しています。



各種補助金をトータルしてご提案

### 参入時の費用を低減します

#### 島根県補助金(抜粋)

○基盤整備支援

→ほ場整備費の実質負担額を  
支援します!※

○事務所賃支援

→島根県内のオフィスの賃料を支援します!

補助率: 1/2

上限60万円/年(最長2年間)

○開始活動支援(ソフト)

→培土、畝形成等に要する資材費を支援します!

補助率: 1/2(最長2年)

上限100万円

○開始活動支援(ハード)

→軽トラック等の国事業で対象に  
ならない経費を支援します!

補助率: 1/3 上限500万円

#### 市補助金(浜田市)

○試作栽培支援

→浜田市で栽培の試作をする際に費用を  
支援します!(有機農業等浜田市振興  
作物に限る)

補助率: 1/2 上限100万円

#### 国庫補助金(抜粋)

○産地パワーアップ事業

(生産基盤強化対策)

→ハウス等の整備を支援します。

補助率: 定額1/2以内

○雇用就農資金

→新たに雇用する際に支援します。

補助額: 年間最大120万円  
(最長4年間)

※国事業を使用した際の実質負担割合15%を島根県が負担  
(市町村によっては全額負担できない場合があります)

# 労働力人口

島根県の労働力人口は約36万人ですが、島根県は東西に長く、通勤可能なエリアに分けると隣接する県の市町も含めると東部の圏域が最も多く約26万人、西部の圏域が約4万人、中央部の圏域が約5万人となります。



## 各圏域ごとの労働力人口

**1** 浜田市、益田市、吉賀町  
津和野町  
山口県萩市・阿武町  
→約4万人

新規就農者数  
(山口県の隣接市町を除く) **40人**

**2** 大田市、江津市、浜田市  
飯南町、川本町、美郷町  
邑南町  
→約5万人

新規就農者数 **66人**

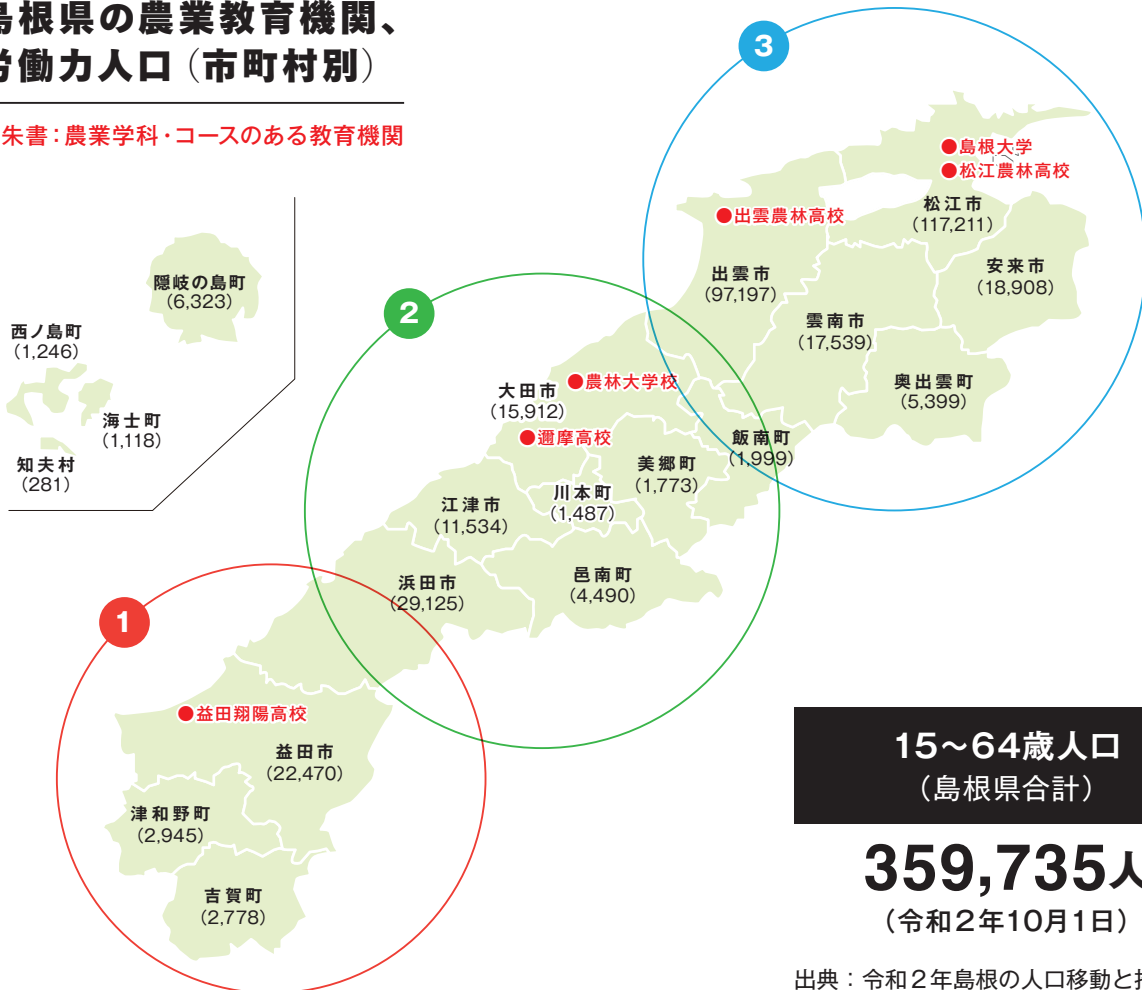
**3** 松江市、安来市、雲南市  
奥出雲町、出雲市  
鳥取県米子市・境港市・南部町  
→約26万人

新規就農者数  
(鳥取県の隣接市町を除く) **82人**

出典：労働力人口／令和2年島根の人口移動と推計人口より算出 新規就農者数；島根県農業経営課調査（R2年度）

## 島根県の農業教育機関、労働力人口（市町村別）

●朱書：農業学科・コースのある教育機関



15~64歳人口  
(島根県合計)

**359,735人**  
(令和2年10月1日)

出典：令和2年島根の人口移動と推計人口

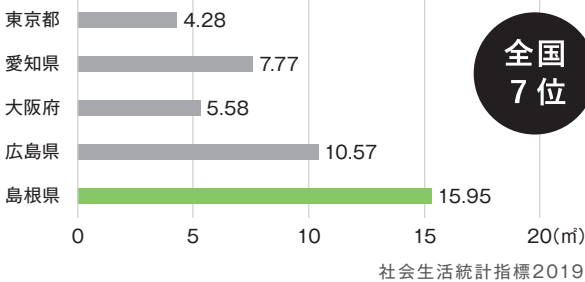


# 住環境

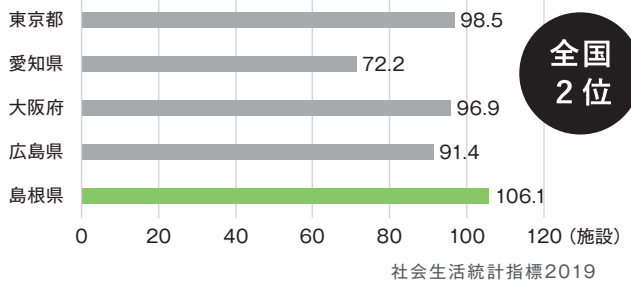
海、山の豊かな自然に恵まれ、安全・安心で暮らしやすい島根は、生活にゆとりと安らぎを与えてくれます。



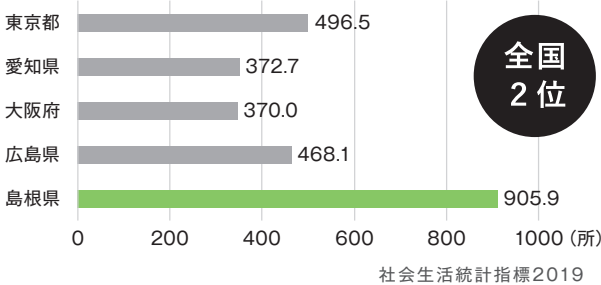
## ●都市公園面積（1人あたり）



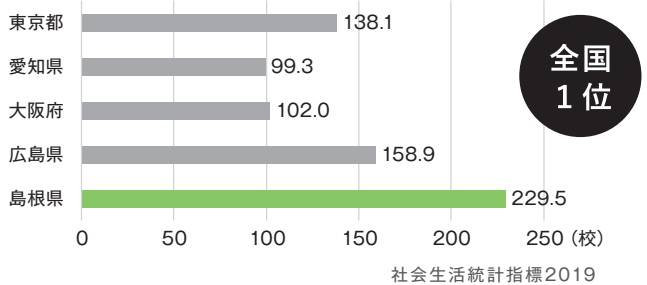
## ●一般診療所数（10万人あたり）



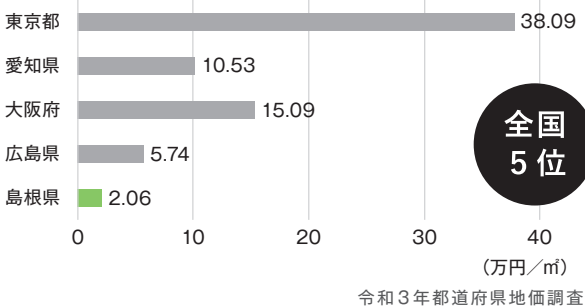
## ●保育所数（0～5歳人口10万人あたり）



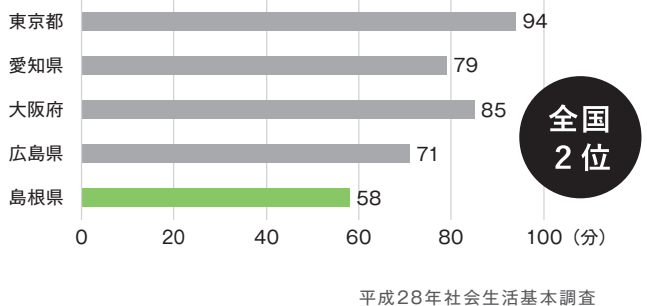
## ●高等学校数（15～17歳人口10万人あたり）



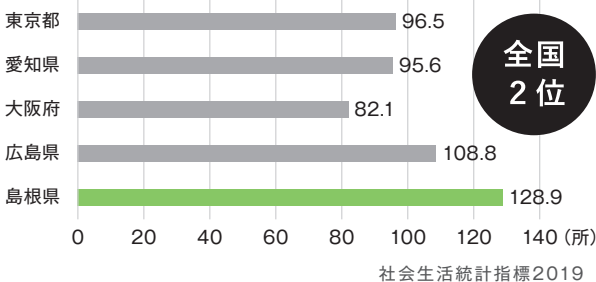
## ●住宅地価格（㎡あたりの住宅地価格）



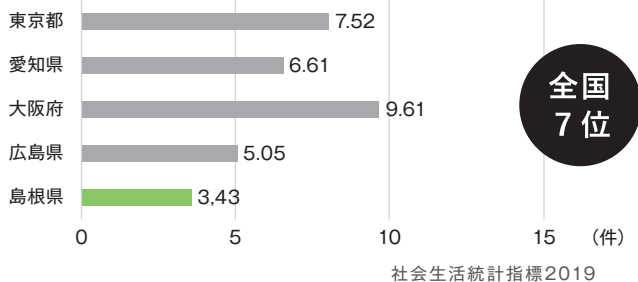
## ●通勤・通学時間（1日あたり）



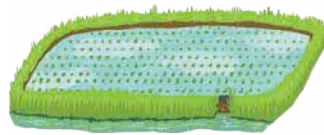
## ●セルフサービス事業所数（10万人あたり） （スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア等）



## ●刑法犯の認知件数（1,000人あたり）



# 農地の確保



## 農地を取得する場合

農地を取得する場合は、農地法の要件を満たす「農地所有適格法人」を設立する必要があります。農業法人の中で、農地法第2条第3項の要件に適合し、農業経営を行うために農地を取得できる農業法人のことを「農地所有適格法人」と言います。

### 【農地所有適格法人の要件】

#### ① 法人形態要件

株式会社（公開会社でないもの）、持分会社（合名会社、合資会社、合同会社）、農事組合法人（農協法）のいずれかであること。

#### ② 事業要件

農業（農産物の加工・販売、農作業受託等の関連事業を含む。）の売上高が過半を占めること。

#### ③ 構成員・議決権要件

農業関係者（農業常時従事者、農地の権利提供者、農地中間管理機構、地方公共団体、農協、農協連合会、作業受託農家、農地中間管理機構又は農地集積円滑化団体を通じて農地を貸し付けている者）の議決権が、総議決権の過半を占めていること。

#### ④ 役員要件

・ 役員の過半が、農業の常時従事者（原則年間150日以上）であること。  
・ 役員または重要な使用人（農場長等）のうち1人以上の者が、農業に原則60日以上従事すること。

## 農地を借入する場合

次の要件を全て満たす場合、「農地所有適格法人」以外の法人であっても、農地の使用貸借による権利又は貸借権を取得できます。

### 【要件】

- ① 農地を適正に利用しない場合、貸借を解除する旨の条件が契約に付与されていること。
- ② 地域の農業者との役割分担のもと、継続的・安定的な農業経営が見込まれること。
- ③ 業務執行役員又は重要な使用人のうち1人以上の者が、法人の行う農業に常時従事すると認められること。
- ④ 農地の全てを効率的に利用して、耕作の事業を行うこと。

## 農地を利用しない場合

農地を利用しない、農地の権利を取得しない場合は、農地法の制限はありません。

島根県は、関係機関とも連携・協力し、農業技術指導・相談、農地の確保、補助金、制度融資等企業の皆様の島根進出を全力で応援いたします。

## 技術指導・相談等（農業技術センター）

農業技術センターは島根県東部の出雲市に拠点を置き、「生み出す役割」「備える役割」「支える役割」の三つの大きな役割を担い、農業の新技术開発、環境保全及び経営の合理化に必要な試験研究、調査、分析、種苗の保存配布、農業における技術指導などに関する業務を行っています。

同センター内には、技術普及部と研究部があり、技術普及部は、最新栽培技術や試験研究で開発された技術等を速やかに農家に普及するため、より専門技術に特化した技術・経営指導を実施しています。

研究部は、県オリジナル新品種の育成や生産性を高める新しい栽培技術の開発などを中心に行っています。

また、総務企画部は新技术の普及を図るうえで必要となる経済性や導入条件なども明らかにし、公表しています。

同センターは試験研究で得られた成果を広く情報発信するとともに、高度な生産技術の普及などに取り組んでいます。

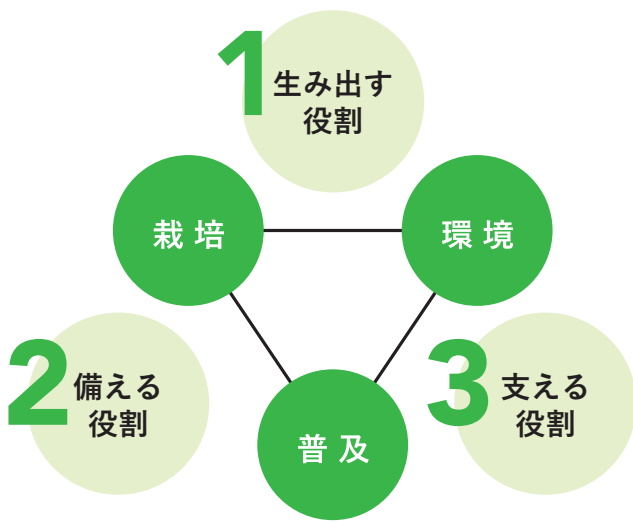


図1：農業技術センターの役割

- 1 生産性を高める栽培法の開発や品質に優れた新品種育成など新しい技術を生み出す役割
- 2 地球温暖化や燃油の高騰、食の安全性確保など、新たな課題への対応に備える
- 3 優良種苗の供給や病害虫発生への監視、新技术の普及など本県農業の基礎を支える役割



写真：普及指導員による技術指導

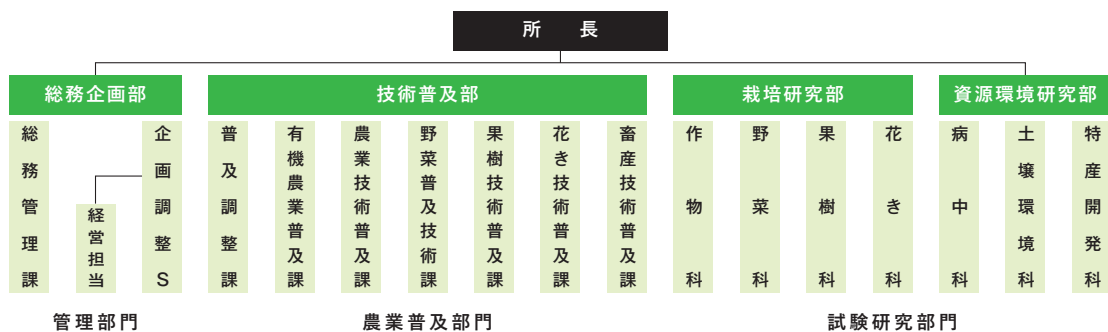


図2：農業技術センター組織図

# 水田園芸

島根県では水田を活用した園芸作物を推進しており、排水対策の為の明きょ、暗きょ整備や販路の確保など、既存の米栽培からの転換チャレンジを支援しています。

## 島根県推進6品目



白ネギ



アスパラガス



キャベツ



たまねぎ



ブロッコリー



ミニトマト

6品目に対応した大規模なほ場整備だけでなく、排水改良や土壌改良などの小規模な基盤整備についてきめ細かく対応します(実質負担なし)



[額縁明きょ]



[サブソイラーによる暗きょ]

# GAP・有機JAS

実需者や消費者の信頼向上・経営向上に有効なGAP(農業生産工程管理)や消費者ニーズに即応した有機農業に農業者・農業者団体が積極的に取り組んでいます。

## 都道府県別GAP認証数(農産物)

(ASIAGAP+JGAP+都道府県GAP)  
[令和2年3月末] 農林水産省公表資料から算出

順位	都道府県	認証数
1	鹿児島県	8,595
2	山梨県	4,431
3	静岡県	1,159
4	熊本県	661
5	島根県	366
全国計		17,437

## 有機JAS認定ほ場面積割合

(令和2年) 農林水産省公表資料から算出

順位	都道府県	面積(a)	割合(%)
1	鹿児島県	99,347	0.86
2	熊本県	66,824	0.61
3	宮崎県	39,461	0.60
4	山梨県	13,969	0.59
5	石川県	23,588	0.57
6	大分県	30,973	0.56
7	島根県	17,602	0.48
全国計		1,202,709	12.16

## いわみ地方有機野菜の会



浜田市・江津市 会員農家の出荷調整作業

有機栽培の施設園芸(主に葉物野菜)を行う生産者グループで、ハウス面積は11ha。就農希望者の研修受入や、新規就農者への技術・経営指導などを実施。平成20年に会員が生産した有機野菜を一元的に販売する会社を設立し、県内外に販売している。平成29年から各農場がGAPに取り組み、美味(おい)しまね認証を取得。

## 赤江・オーガニックファーム



安来市 安来市赤江地区のハウス団地

Uターン者7名で農業開始。有機栽培に取り組む仲間を増やすため、研修生を積極的に受入れながら構成員を増やし生産を拡大(現在のハウス面積2.3ha)。有機JAS認証を取得し、関西方面を中心に販路を拡大。

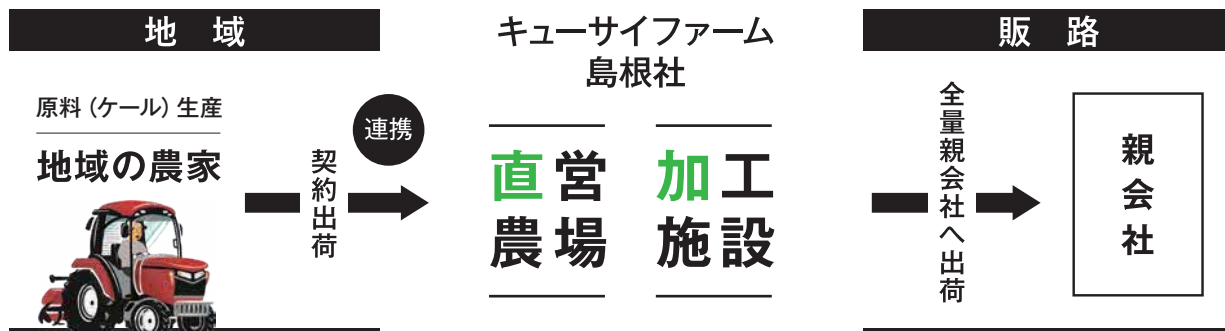


Pick Up /

## 参入事例 (H10参入 益田市)

### キューサイファーム島根

直営農場と周辺農家を巻き込み、栽培面積90ha、売り上げ10億円



近隣に加工施設も整備し、  
生産物は全量親会社買い上げる

自社生産の他、契約を結ぶ  
周辺農家からも原料を購入

直営農場と加工施設で120人の雇用を創出



#### ●法人の概要

法人名 株式会社キューサイファーム島根  
代表者 代表取締役社長 廣田 英二  
所在地 〒698-2144 島根県益田市虫追町320-39  
電話 0856-28-8012  
業種 農業・清涼飲料水製造業  
資本金 1,000万円  
設立 1998年(平成10年)  
関連会社 キューサイ株式会社

#### ●農業経営の概要・特徴

経営規模 ケール栽培約116ha(自社農地:約70ha  
委託栽培:約46ha)と冷凍青汁・ケール乾燥品製造  
従業員 社員/27名 パート/49名(2019年8月現在)  
年商 10億円(2018年12月期)  
投資額 20億円  
特徴 ・農業や化学肥料を使用せず、ケールの栽培から  
青汁製造・販売までを一貫生産しています。  
・ケールを自社栽培以外に外部に生産委託しています。

#### ●農業進出、島根進出の動機、きっかけ、目的

農業進出 青汁の原料であるケールの安定確保を図るためです。  
島根進出 ○ケール栽培が可能な大規模農地及び青汁製造が可能な工場敷地が確保でき、効率的な大規模農・製造が可能となりました。  
○周辺農家のケール委託栽培など地元関係者、自治体等の協力・支援が得られたことです。

#### ●課題、今後の事業展開

課題 ケールの安定供給、労働力の確保・従業員の高齢化対応、勤務体制の検討、新規事業対応  
事業展開 ケール以外の多品目栽培や受託加工など他企業との連携を検討していきます。

#### ●アドバイス

益田市の気候は比較的穏やかで過ごしやすく、水も非常にきれいな土地です。また、地域の方々も暖かく新規就農者には、非常に取り組みやすい環境や支援体制が整っていると感じています。

島根県では、独自の販路や高い生産技術を持ち、地域の農業者や農業法人を巻き込み地域の中心となって産地化を図っていただけるような「地域けん引経営体」企業様の参入をお待ちしております！